

47. コンタクトレンズの汚れ

月山 純子

社会医療法人博寿会山本病院眼科、近畿大学眼科学教室

●はじめに

コンタクトレンズ (CL) の汚れは日常臨床でよく経験する。CL の扱い方やケア方法が間違っている、あるいは手を抜いているという使用者側の問題であることも多いが、一生懸命真面目にケアをしているのに汚れが生じてしまうこともある。診察時には、汚れの原因を分析して適切な対応をとらなければならない。

まずは、アレルギー性結膜炎のような CL が汚れやすくなる疾患がないかを確認する必要がある。また、汚れの種類に応じた洗浄液の選択と、使い方の指導も必要である。ケア方法の間違いによる汚れでは、どこが問題なのかをよく聴かなければならない。レンズ素材やデザインによっても汚れ方が異なるので、素材や種類変更が必要なこともある¹⁾。

●ハードコンタクトレンズの汚れ

ハード CL (HCL) に多い、水をはじくような汚れがある (図 1)。フルオロセインで染色して瞬きを繰り返してもらおうと、そのたびに水があるところと、ないところが出てしまう。これは、表面の水濡れ性が悪いときに起こりやすい。HCL に限らず、CL 表面は水濡れ性がと

ても大切である。水濡れ性が悪いと、見え方が悪いだけでなく、乾燥感や異物感が強くなってしまう。表面加工や素材そのものの工夫で水濡れ性を高めるようにされているが、方法はメーカーによってさまざまである。

水濡れ性が悪くなる原因としてまず考えられるのが油性成分の付着である。化粧品などの油性成分がレンズ表面に付いてしまうと、その部分だけ水濡れ性が悪くなる。意外に落とし穴なのがハンドクリームである。レンズを扱うスタッフの手にハンドクリームの成分が残っていることもあるので、注意が必要である。

水濡れ性の悪い部分が出てしまった場合は、洗浄液を用いてしっかり洗わなければいけない。油性汚れにはイソプロピルアルコールが入った洗浄液がよい。HCL 用には「ジェルクリン W」(シード)があり、ソフト CL (SCL) にも使える。また、研磨剤+界面活性剤が入った洗浄液が有効なこともある。図 1 の症例は、研磨剤+界面活性剤が入った洗浄液「クリーン & ウェット」(サンコンタクトレンズ) で洗浄することによって改善した (図 2)。ただし、メニコンのレンズ全般とシードの「S1」というレンズは表面に特殊加工が施されており、研磨剤により表面加工にダメージを与え、かえって水濡れ性を

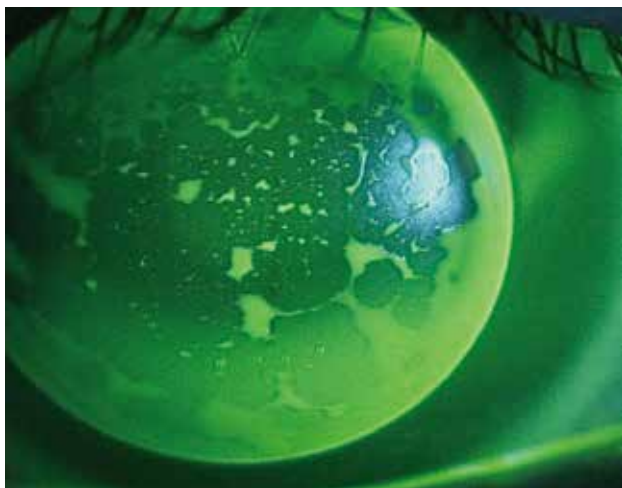


図 1 レンズ表面の水濡れ性が低下した状態

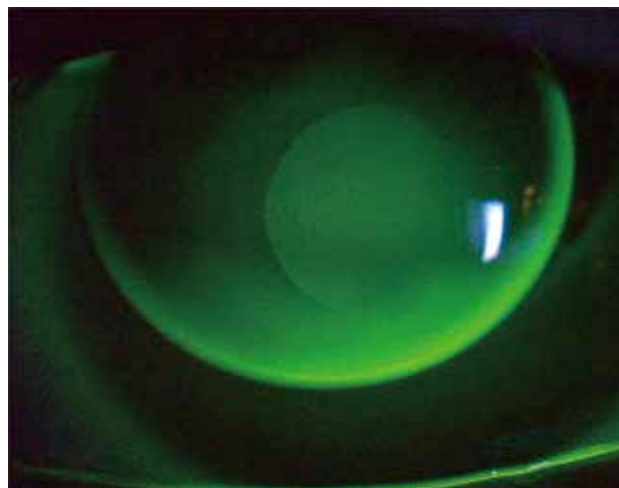


図 2 研磨剤+界面活性剤による洗浄液で洗浄後

低下させてしまうので注意が必要である。患者から預かったHCLの種類がわからないときには、研磨剤入り洗浄液の使用は避けるようにする。研磨剤入りのHCL用洗浄液には、ほかに「スーパークリーナー」(ボシユロム社)などがある。

●ソフトコンタクトレンズの汚れ

SCLの汚れも、基本的にはHCLと同じであるが、フルオレセイン染色ができないため水濡れ性の低下がわかりにくい。従来素材のハイドロゲルレンズは親水性素材でできているため油性汚れは起こりにくいが、近年、処方が増えているシリコンハイドロゲルレンズでは、シリコンがもともと親油性なので、油性汚れが付きやすい。各メーカーはさまざまな工夫をすることで表面を親水化させて水濡れ性を高めているが、ひとたび化粧汚れなどの油性汚れが付くと落としにくくなる。

SCLのケアは、1種類の液で洗浄もすすぎも保存もできるマルチパーパスソリューションというカテゴリーのものが用いられることが多い。しかし、これだけでは洗浄力が不十分なことが多いので、洗浄液を併用することを勧めたい。油性汚れにはHCLと同様にイソプロピルアルコール入りの洗浄液が有効である。前述のHCL、SCL両用の「ジェルクリンW」、SCL用では「レンズクリア」(ロート製薬)がある。

●汚れを付きにくくする基本指導

汚れた手でCLを扱わないように、CLを触る前には必ず石鹸で手をしっかり洗う指導をすることが大切である。また、化粧をする人には、CLを装着したまま化粧落とし(クレンジング)をしないよう、必ず先にCLをはずすこと、また化粧で汚れた手でCLを扱わないよう、先にCLを装着してから化粧をするように指導する。どちらもCLが最初なので「CLファースト」と覚えるとよい²⁾。

●おわりに

インターネットでのCL購入が増えている。眼科受診をしておらず、ケアが間違っているためにCLが汚れている人も多い。眼科受診時に汚れの原因を的確に解決できると、眼科受診の重要性を理解してもらいやすい。汚れ対策に精通して、安全で快適なCL装用をめざしたい。

文 献

- 1) 月山純子：CLケア 汚れ対策を中心に。日コレ誌 54：202-207, 2012
- 2) 月山純子：CLケア教室 第43回 化粧とCL。日コレ誌 55：46-48, 2013

うすくてやわらか、レンズのうるおいキープ。

ワンデーアキュビュー®モイスト® シリーズ



近視・遠視用



乱視用



遠近両用



ディファイン®

◎コンタクトレンズは高度管理医療機器です眼科医による検査・処方をお願いします。特に異常を感じなくても定期検査は必ず受けるようにご指導ください。
◎患者さんがコンタクトレンズを使用する前に、必ず添付文書をよく読み取扱い方法を守り正しく使用するようにご指導ください。

販売名・承認番号：ワンデーアキュビュー モイスト・21600BZY00408000/ワンデーアキュビュー ディファイン モイスト・22300BZX00126000

【効能・効果：視力補正、虹彩又は瞳孔の外観(色、模様、形)を変えること】

ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社 ビジョンケアカンパニー 東京都千代田区西神田3丁目5番2号 登録商標 ©J&J KK 2018